

平成24年第4回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者	
12月11日(火)	午前	1	小林由明議員
	午後	2	田辺博議員
		3	本多了一議員
		4	樋浦恵美議員
		5	渡邊雄三議員
12日(水)	午前	6	長井由喜雄議員
		7	中山眞二議員
	午後	8	中島義和議員
		9	埴 豊議員
		10	齋藤信行議員
11	齋藤紀美江議員		
13日(木)	午前	12	渡邊広宣議員
		13	山崎雅男議員
	午後	14	土田昇議員
		15	タナカ・キン議員
		16	阿部健二議員
		17	大岩勉議員

平成24年第4回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	小 林 由 明	<p><b><u>1. 起業活動の活性化と、起業意識の刺激について</u></b></p> <p>(1) まちの発展と起業活動について、市はどのように考えているか。          起業意識の刺激、醸成は、現に事業を行っている者にとっても被雇用者であっても、それぞれの成長発展に資するものであろうし、また、さまざまな産業が市内に生まれることは、その雇用などを通じて、人々の持つ多様な能力を活かすことのできる社会の実現に資するものとなる。          住民の起業意識を刺激し、その活動を活性化する施策が必要であると思うがいかがか。</p> <p>(2) 燕市におけるソーシャルビジネスの振興、普及についてどのように考えるか。          さまざまな社会問題をビジネスとして解決する、いわゆるソーシャルビジネスの振興普及は、まちの活性化につながるものと思う。燕市において、ソーシャルビジネスの振興、普及を推進していく考えはあるか。</p> <p>(3) 市所有の建物や、工業団地の空き工場や空きスペース、商店街の空き物件などを利用し、学生、研究者などが、ベンチャービジネスを展開しやすい環境を整備する考えはないか。</p> <p><b><u>2. 市の業務の民営化や指定管理者制度導入の今後と、市内事業者の育成について</u></b></p> <p>(1) どのような業務を民営化し、また、指定管理者制度をどの程度導入していきたいと考えているか、将来的な構想を伺いたい。</p> <p>(2) 民営化と指定管理者制度の導入を進めていくにあたり、それら事業を引き受け、十分なサービスを提供することができる市内事業者の育成は大変重要であり、必要なものと思うが、市はどのように考えているか。</p> <p><b><u>3. 職員間の意思疎通について</u></b></p> <p>(1) 行政にとっても業務の効率性の向上や正確性の確保は大変重要であり、特にその正確性は絶対に確保されなければならない、そのためには職員間の意思疎通がしっかり行われることは必要不可欠である。          また、まちづくりに関する住民からの負託に応えるべく、職員個々の能力を最大限に発揮させるためにも、役職などに関わらず、すべての職員がさまざまな意見を出しやすい環境の整備は必要であろうと考えるが、市はどのように考えているか。</p> <p><b><u>4. 各種行事における国旗と市旗の掲揚方法について</u></b></p> <p>(1) 燕市の行事において、国旗が向かって左、市旗が向かって右に掲揚されている場合と、その逆に掲揚されている場合を見かけるが、燕市における国旗と市旗の掲揚方法について伺いたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
2	田 辺 博	<p><b>1. 教育問題について</b></p> <p>(1) 学校教育の根本は学校で学んだことを活かし、行動を起こすことにより成果が上がると思う。そのためには家庭の教育力が大きく影響すると思うが。</p> <p>(2) 生活様式が多様化、複雑に変化し、これまでの単一目標のもとの画一的な教育は出来なくなった。子どもたちに戸惑いはないか。</p> <p>(3) 新潟市南区では防災無線を使って、下校時に子どもたちの安心・安全のための協力要請をされているが、燕市にもこのような方法は出来ないか。</p> <p>(4) 教育立市を宣言した燕市で不登校あり、いじめあり、昨年より増加傾向にある現状をどのように考えるか。</p> <p>(5) 教育長はいじめはゼロに出来るものではないと答弁されたが、学校・地域・家庭と協力し合いゼロにすべきと思うが。</p> <p>(6) 家庭は子どもの見本であり教本であると思うが。学校と家庭の関係を密にすべきと思うが。</p> <p>(7) 教育には高い倫理観と使命感が求められ、本来家庭が行う基本的なしつけ等、生活支援業務の発生がエネルギーをなくす一因となっていないか。教員にもゆとりを与え、子どもと接する時間と自己研鑽の保障をすべきと思うが。</p> <p>(8) 地域住民との連絡を密にし、住民から貴重な経験を子どもたちに伝える環境整備をすべきと思うが。</p> <p>(9) 地区公民館の活動について、今までの活動事業を見直し、大人も子どもも一緒に使え、教育・福祉などさまざまな事業に気軽に使える施設にならないか。</p>
3	本 多 了 一	<p><b>1. 市長の政治姿勢について</b></p> <p>(1) 10月の県知事選挙でのNHKの出口調査では、柏崎・刈羽原発の再稼働に反対するという人が約70%に及んだというが、知事選でどなたに投票したかは別に、燕市民の中にもこの感情が多数あるのでないかと思われる。</p> <p>福島第一原発のような事故が起きたら大変になると多くの市民が心配しているのではないかと推察できるが、市長はこの心配についてどういう心を寄せておられるか。柏崎・刈羽原発の再稼働という問題について、どのような見解を持っておられるかお聞きしたい。</p> <p>(2) 原子力規制委員会は、来年3月まで防災計画を立てるよう要請しているが、燕市としてどう対応するのか。</p> <p>(3) 消費税増税法案に附則があって社会保障費以外に使うことができるようになってきているが、市長はこの附則について承知しておられるか。</p> <p><b>2. 県央大橋西詰めのもニュメント、あのままでよいか</b></p> <p>(1) 私にとっては非常にみにくいものになっているが、当局はどう評価しているのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	本 多 了 一	<p><b>3. 教職員住宅に関連して</b></p> <p>(1) 二階堂の教員住宅は近いうちに壊すことになっているが、いつまでに壊すのか。また、住宅の敷地は借地でないか。借地だとすれば地主に返すのか買収するのか。</p> <p>(2) 先の教員住宅をはじめ、小中川公民館、ふれあいセンター小中川、児童館なども借地になっているのではないかと思われるが、実際どうなっているのか。</p> <p>(3) 三王湊の教職員住宅が非常に傷んでいる。現在、何人の先生が入居しているのか。また、今年の新学期に入居された先生は何人か。</p>
4	樋 浦 恵 美	<p><b>1. 安心して暮らせるまちづくりについて</b></p> <p>(1) 燕市緊急通報システムについて</p> <p>65歳以上のひとり暮らし高齢者などに緊急通報機器などを貸与し、急病や災害時に迅速な対応を図ることを目的とし、ひとり暮らし高齢者の「毎日の安心」と「いきいきとした暮らし」を与えようとしている。</p> <p>① これまでに何名の方が利用されているのか。</p> <p>② 利用者負担として、市民税非課税世帯は月額500円、課税世帯は月額1,000円を負担しているが、今後、負担軽減など見直す考えはあるのか。</p> <p>③ 高齢者の単身世帯は増える傾向にあるが、今後の課題としてどういった点が考えられるか。</p> <p>(2) 外出先で急病や事故に遭った際には、適切な対応が求められます。外出時の急病対策の一環として、緊急連絡先や病歴、かかりつけ医療機関などを記入できる「救急安心カード」のようなものを作成し、市民に配布することで、迅速な応急処置による救命率アップにつながるのではないかと考えるが、意見を伺う。</p> <p><b>2. 学校施設における非構造部材の耐震化について</b></p> <p>学校施設の柱や梁など、建物の骨格となる「主要構造部」の耐震化については本市においても進んでいるが、天井や照明器具など「非構造部材」の耐震化については、全国的に見ても後回しになっているのが現状です。</p> <p>(1) 本市において、これまでの地震で体育館の天井や照明器具などの破損はなかったのか。また、点検はされてきたのか。</p> <p>(2) 体育館は避難所として位置付けられるため、安全確保が求められると思うが、非構造部材の耐震化について、今後どのように取り組まれていくのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
5	渡 邊 雄 三	<p><b>1. 中小企業対策について</b></p> <p>(1) リーマンショックを発端とした金融危機や景気低迷が続く中、最近の一般紙によれば、内閣府が発表した9月以降の景気動向によると6カ月連続で悪化した。欧州債務危機や新興国の経済鈍化などで輸出が減少し生産は落ち込んでいる。景気基調判断を足踏みから下方への局面変化を示していると修正。日本経済は後退局面入りした公算が大きいとの見方を示した。燕市でも一部の企業を除き、じり貧状況にあると感じています。</p> <p>①当局は市内の中小零細企業をどのように分析しているのか。</p> <p>②景気低迷に伴い中小企業の資金繰り悪化などの対応策として実施されてきた中小企業金融円滑化法が2013年3月で終了期限を迎えるが、市としてどのような対応をしていくのか。</p> <p><b>2. 介護福祉について</b></p> <p>(1) 人口に占める高齢者の割合が年々増加する中、介護保険サービスの受給者数も制度創設時の2.2倍に増えており、介護保険を取り巻く状況は年々変化している状況です。</p> <p>①最近、制度上の改善として寄せられる現場の声の一つが、福祉用具購入費及び住宅改修費の補助について、いわゆる償還払いだけでなく、受領委任払いを選択できるように改めてほしいのですがいかがでしょうか。</p> <p><b>3. 小型家電リサイクル法について</b></p> <p>(1) 携帯電話やデジタルカメラなどの使用済みの小型家電に含まれるアルミニウム、貴金属、レアメタルなどの回収を進める小型家電リサイクル法が本年8月に成立し、来年8月に施行になります。</p> <p>①市としてどのような対応をしていくのか。</p> <p>②小型家電のリサイクルを実施することにより、最終処分場への埋め立ての減量化はどのくらい見込まれるか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	長井由喜雄	<p><u>1. AEDの有効的活用と心臓震盪を防ぐ取り組みについて</u></p> <p>(1) 現在設置されているAEDは有効的に活用されているか  現在燕市では48施設に52機のAEDが設置されている。この中で学校の設置場所を見てみると、中学校では体育館入口などに置かれて夜間開放で体育館などを使う市民がAEDの必要に迫られる事態となったときにこれを利用できる状況だが、小学校では教務室や保健室に「保管」されていることで、市民が利用することができない。小池小学校は唯一お手製の保管箱が体育館入口に取り付けられAEDが利用も使えるようにしている。なぜ他校は教務室保管としているのか。設置場所を変更するべきではないか。  また、現在公的施設に置かれているものも、近くに住む市民が必要なときには使えるものと認識してもらえようような姿勢を持つとともに周知することを検討してはいかがか。  さらに、交通公園、ふれあい広場に置かれているものは、冬季閉鎖で半年間使うことができなくなる。交通公園のものはこどもの森に移し、ふれあい広場のものは他の利用に回すべきでないか。</p> <p>(2) AED設置の拡大と無料AED付き自動販売機導入の検討を  市は、AEDの設置について、どこまで拡大しようという考えを持っているか。学校に設置されているAEDは「子どもが必要になったときに使用する」という当然の考えが示されているが、そうであるなら児童館、児童クラブ、なかまの会さらに保育園、幼稚園などにも置くことが必要だ。  てまりの湯では2007年に自販機設置に伴い、自販機業者が無償で提供するAEDを置いている。現在AEDが置かれている48施設で自販機を置いているところは何施設で、数はいくつになるか。自販機業者と交渉する中で無償設置の施設が拡大できるのではないか。これにより設置施設の拡大と、さらに新潟市などがやっているように、スポーツ団体や高齢者が多い組織・団体への貸出しにも道が開けるのではないか。</p> <p>(3) AEDが使われるまでにできること、すべきことを身に付けるために学校で心臓マッサージ訓練を  AEDはそこに置かれているだけでは「安心感」を満たすだけで、「使い方」を子どもたちや大人が理解していなければ命を救うための道具とはならない。また、AEDを用意し、使用するまでにしなければならないことを子どもも大人も理解し、訓練をしておく必要がある。特に関西方面では心臓マッサージの練習キットを導入して、命を救うための授業も行われている。燕市においても「救える命は救う」という考えを持ち、何から始めるかを考え行動に移してほしい。</p> <p>(4) 心臓震盪から子どもたちを救うために、スポーツ部の中でも球技部ではプロテクター装着を  年間6万人にのぼる突然死の中には子どもも含まれる。心臓震盪を起こす事例は特に野球など球技を行なっている時が報告されている。幸いにして現時点まで燕市においてはこれらの事例はないが、いつ起きても不思議はないものだ。心臓震盪に至る可能性のあるものについてはこれを防ぐ手段も示されており、野球を中心としてプロテクターの装着を進めていくことが必要ではないか。  (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	長井由喜雄	<p><b>2. ジェネリック薬への転換の取り組みについて</b></p> <p>(1) 国保で取り組まれている「ジェネリック薬希望」ケースおよび「差額通知」の取り組みの状況について</p> <p>燕市は県内でも先進的にジェネリック薬への転換で調剤費を縮減する取り組みを積極的に行なってきたと評価している。ジェネリック薬希望と印刷したカードケースの効果はどうか。</p> <p>また、5月から11月までに実施した「差額通知」の取り組みは現時点でどのような効果を示しているか。</p> <p>(2) レセプトデータの今後の活用について</p> <p>「差額通知」を実施していく中で得られるレセプトのデータにより、国保加入者の健康維持と保険者としての保険給付削減の観点でさまざまな展開が期待できるのではないかと。「差額通知」を今後も実施しながら、疾病の重症化や新たな疾病を防ぐことなど、その活用が期待できるのではないかと考える。高額医療の対象となる疾病を保健指導などで抑えることにより、本人の健康への寄与も期待できる。考えられる具体的活用策はどうか。</p> <p><b>3. 避難訓練から明らかになった課題</b></p> <p>(1) 災害情報を得る手段について市民に徹底していく必要があるのではないかと</p> <p>11月18日に行われた吉田南小学校区を対象とした避難訓練を見させてもらった。最後の訓練振り返り会のときに400名以上の参加者に、市が行なっている防災・災害情報の発信の認知度について問うたが「防災つばめメール」も、「FMラジオはーと」が災害時に災害情報を伝達することも、「BSNのデータ放送」により災害情報を得られることということについても、参加者の1割弱の方しか知らなかった。この場で手を上げてもらったことによって、初めて市民への浸透度がわかったのではないかと。</p> <p>市がいくら情報を伝えるための整備を進めても、市民がこれを「知らない」「活用できない」のでは災害時に役立たないことになる。市は認知・浸透度の低さをどう捉えたか。最優先で市民に「知ってもらおう」必要があると思うが、対応についての考えは。</p> <p>(2) 避難訓練の今後の展開について</p> <p>小学校区ごとの避難訓練からも現実的な課題が見えてきていると思う。昨年の分水地区の避難訓練と、今回の吉田南小学校区での訓練を見ても、地域防災力の強弱を感じた。それとともに燕市全体の同時避難訓練をやらなければ現実的な課題は見えてこないのではないかと。避難訓練の「体験」から「実践」に発展させないと災害時に本当に対応できることにならないと思う。市の考えはどうか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
7	中山 眞 二	<p><b>1. 産業について</b></p> <p>(1) 燕商工会議所では、T S Oいわゆる品質管理の燕規格の構築をして事業を行っている。燕市で行ってほしいという要望を聞いたが、行う予定はあるのか。</p> <p>(2) 市長はタイに視察に行かれたが、それを見ての燕市でのモノづくりはどのようにしていかねばならないと感じているか。</p> <p>(3) 後継者不足が農業、工業、商業と産業界全体に問題となっている。その原因と究明と対策について。</p> <p>(4) 産業史料館隣接の空き地(モニュメント周辺)に使われなくなった燕産業の機械を置いて、機械の森のような広場にしてはどうか。現在は雑草が生い茂っているが。</p> <p><b>2. 地域の高齢化に対する地域管理について</b></p> <p>(1) 幹線道路(国県の道路を含む)の街路樹の落ち葉はだれが管理するのか。また、側溝のつまりはだれが掃除するのか。自治会への管理委託が望まれるがその対策は。</p> <p>(2) 体の不自由な方や高齢者の方などは、地先の側溝掃除や除雪などを自治会や近所で助け合っているが、より高齢化できなくなりつつあるその対策は。</p> <p><b>3. 公園整備について</b></p> <p>(1) 中越衛生処理場の跡地に公園をとという要望が出されていたが、その後の予定は。</p>
8	中 島 義 和	<p><b>1. 公共施設の跡地利活用について</b></p> <p>(1) 新庁舎建設工事も25年5月供用開始に向けて、工事工程表のもと順調に進められており、それに伴い現庁舎の跡地利活用計画も現庁舎利活用推進本部(事務局、企画財政課)より協議会資料として配付され利活用計画スケジュール(案)も示された。それに関連し今後の取り組み方について伺います。</p> <p>(2) 統合保育園、新年度開園に向けて工事が進められております。それに伴い八千代保育園、吉田南保育園が空園となる。前の吉田旭保育園のような再利用計画はどのように考えているか。</p> <p><b>2. 市民霊園、墓地公園の墓地造成について</b></p> <p>(1) 燕霊園、小高墓地公園、吉田墓地公園合わせて1,773区画すべて完売、市民から市営墓地造成との声が聞こえてくるが、また、市民からの墓地購入に対して相談、問い合わせの実態はどうか。また、墓地購入希望者はどんな状況か。</p> <p>(2) ある宗教法人が、吉田地内に墓地建設計画の申請書類を行政に提出されたが、法令規定にのっとり不許可となった。墓地造成を心待ちにしておられた市民も多数おられた。この度の建設計画が消えても市民は墓地の建設を待望しておられます。行政主導で市営墓地の造成(増設)を提案するが考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>



発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	中 島 義 和	<p><b>3. 新庁舎周辺の環境整備について</b></p> <p>(1) 市道 602 号線沿いの排水路地域から改修の要望がなされているが、どのようにとらえておるか。</p> <p>(2) 燕市都市計画マスタープランで、新庁舎周辺の土地利用で行政拠点の形成とうたわれておるが、目指す方向は。</p> <p>(3) 国道 116 号バイパス通過点と都市計画道路について。</p> <p>(4) 旧吉田南小学校跡地開発における排水対策について。</p> <p>(5) 国道 116 号、現道拡幅(歩道)の整備状況について。</p>
9	埜 豊	<p><b>1. 教育問題について</b></p> <p>(1) 家庭教育と学校教育との関係について</p> <p>(2) クラブ活動のあり方について</p> <p>(3) さらなる学力向上に向けての課題について</p> <p><b>2. 65 歳定年制導入に向けて</b></p> <p>(1) 現在の世代別職員構成の問題点と中堅、若手職員の育成について</p> <p>(2) 今後の職員採用と外部委託の問題について</p>
10	齋 藤 信 行	<p><b>1. 除雪計画について</b></p> <p>除雪については、その年々の積雪量でかなりの違いがあるが、昨年の大雪を踏まえ今年の長期予想は大雪ではないかと言われている。昨年の経験を活かして今年の計画の中でどう違うかお伺いしたい。</p> <p><b>2. 消雪パイプについて</b></p> <p>消雪パイプ等の消融雪施設については、各地区でかなりの要望があるのではないかと思います。消雪パイプは吹雪など風の強い所、吹き溜まりのある所など幹線道路などでは有効なのではないでしょうか。そこで市としてはそういう地域、車の立往生する道路等、分かっている範囲でお伺いします。</p> <p><b>3. 除雪路線の実施について</b></p> <p>除雪道路については合併以来、旧 3 地区の計画が基本になっていると思われるが、合併したから出来る除雪路線はあるのではないかと、路線によっては各地区相互に乗り入れることにより効率的な除雪が出来るのではないかと、合併してからどのように変わったかお伺いします。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	齋藤 信 行	<p><b>4. 空き家の状況について</b> 市には空き家がかなりあるのではないかと。そこで大雪になった場合の状況等、市ではどう把握しているかお伺いします。</p> <p><b>5. 海外視察について</b> 市長は11月19日～23日、タイへ視察へ行ってきましたが感想をお伺いします。また、中国との違いなど市長の感じた中でお伺いします。</p> <p><b>6. えちご燕物産館について</b> 両国店・町田店については、平成25年3月31日（両国店）、平成24年12月31日（町田店）が引き渡しで閉店ということですが、今後これに代わる事業を行うのかお伺いします。またPR・販路拡大に大きな役割を果たしたと報告にはありますが、具体的にお伺いします。</p> <p><b>7. 「たのうら燕」を含め市内の施設等のスクラップアンドビルドについて</b> 「たのうら燕」の今の状況についてお伺いします。また、燕市内には合併後類似の施設が各地区にあると思います。築20年、30年の施設もあると思います。今後、大規模な改修もあると思いますが、スクラップアンドビルドの方向性をお伺いします。</p>
11	齋藤 紀 美 江	<p><b>1. 認知症対策について</b> (1) 高齢化率の上昇に比例して認知症になる人も増え、10年前の倍の305万人となったとの発表があった。年々急増していくことが予測されている認知症対策について。 ①燕市の現状はどうか。 ②国も認知症対策のオレンジプラン(平成25年からの5カ年計画)に早急に取り組むとしているが、燕市としての課題は何か。 ③また、理解や認知度が進んでいない若年性認知症についても、実態把握や市民の理解を進める取り組みが必要に思うがどうか。</p> <p><b>2. 市民協働への取り組みについて</b> (1) 行政の課題解決に向けて市民協働を進めていかなければ、これからの行政運営は成り立たないといわれているが、市の職員がしっかりと意識と認識を持つことが大事になる。市民協働への取り組みの現状と課題について。 ①職員アンケートの予測と結果(解析)について。 ②燕市でもNPOの数は増えてきているが、他市に比べるとまだまだ少ないように思う。市民活動の意義や楽しさをもっと知ってもらう必要があるのではないかと思うがどうか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	齋藤紀美江	<p><b>3. 防災計画・防災訓練について</b></p> <p>(1) 防災計画の見直しが進められている。見直すべき視点や課題について。</p> <p>①どのような視点と課題について計画作りに取り組んでいくのか。</p> <p>②災害の程度によって1カ月から1年以上暮らすことになる避難所運営については、しっかりとした認識を持って取り組む必要があると思うがどうか。</p> <p>③今回、避難された方々の受け入れ時、ボランティアの受け入れに対しての社会福祉協議会との連携不足が指摘されている。災害ボランティアセンター設置の際の体制についてもしっかりと協議しておく必要があると思うがどうか。</p> <p>(2) 防災訓練について。</p> <p>①防災訓練についての住民の反応はどうか。</p> <p>②本部設置訓練をされたがどうだったのか。</p> <p>③炊き出し訓練は大事なこと。阪神・淡路でも中越大震災でも東北大震災でもそうだったが、避難所には炊事施設がテント設営で設置されていた。日々の避難生活で炊き出しボランティアは大事な存在となる。認識と取り組みについての考え方は。</p> <p><b>4. 男女共同参画の取り組みについて</b></p> <p>(1) 男女共同参画の取り組みについて進捗状況は。</p> <p>①女と男ふれ愛フェスタについて参加人数とアンケートの集約結果はどうか。</p> <p>②ハッピー子育てトークライブの参加人数と参加者の反応はどうか。</p> <p>③講師が「女性の政治への参画」について言及されていたが、考えはどうか。</p>
1 2	渡邊広宣	<p><b>1. 産業政策について</b></p> <p>(1) 既存（業種）の見極めと、将来産業への投資・育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要産業の現況と今後の見通し(法人市民税からみる認識について)</li> <li>・新産業の現況と今後の展望</li> <li>・大企業中心の設備投資減税、研究開発減税から(中小)零細企業(小売店)への適用について</li> </ul> <p>(2) ・今年度、市内企業の新卒採用状況の把握について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の採用状況の正規、派遣の把握は</li> <li>・全従業員に占める男女比率の把握について</li> </ul> <p>(3) ・公共事業費の直近3カ年の推移について。その内、地元業者の割合は。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元業者育成を名目に工事発注を謳っているが、結果、育成につながってきたか(税収面も含め)伺う。</li> </ul>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	山崎雅男	<p><b>1. 一般国道 116 号（仮称）吉田バイパス整備について</b></p> <p>(1) ①渋滞解消や地域経済の活性化のためには一日も早く吉田バイパス整備が必要不可欠と思われるが、市としての直近の動向及び今後の事業見通しについて伺う。</p> <p>②吉田バイパス整備の実現に向けて自治会を含め各団体等らで組織する「整備促進期成同盟会」等を立ち上げ、具現化に向けて方向性を示すことはできないか、見解を伺う。</p> <p>③吉田バイパス整備に向けての将来像の検討と道路網整備、管理の在り方の検討、地元住民の意向調査、課題調整に対しての捉え方についての見解を伺う。</p> <p>④吉田バイパスはいまだ方向性が見い出せない中で、予想通過帯の地権者をはじめ、沿線の自治会に対しての今後バイパス整備を進めるにあたり、市としての認識を伺う。</p> <p>(2) 現国道 116 号吉田地区内歩道整備の進捗状況と今後の取り組みについて伺う。</p> <p><b>2. 主要地方道燕・分水線 4 車線化拡幅事業延伸について</b></p> <p>(1) ①田中地域は暫定 2 車線で供用開始してから 7 年経過。当初予定では野本地域を通り西大通りまで 4 車線化整備予定であったが、今日までの具体的な協議内容を伺う。</p> <p>②道路は地域交流を促進し、市民の安全で安心な暮らしを支えるものであるため整備を推進すべきものと思う。また、まちづくりにおいても交通の円滑化は重要課題で、地元住民からは是非とも西大通りまで延伸をとの熱い総意であるが、今後の延伸、動向について伺う。</p> <p>③以前、田中地域暫定 2 車線で供用開始し交通量が増大し、速度制限があるとはいえ横断するには危険性があり、信号機の設置を要望したが、その後の動向について伺う。また、野本・田中地域の交通危険個所についての情報の把握、地域住民との情報共有はどのように認識されているのか。</p> <p><b>3. 子どもたちが夢を抱き、個性を伸ばす教育の在り方について（吉田南小学校創立 50 周年記念夢づくり講演から学んだこと）</b></p> <p>(1) ①教育立市宣言した燕市の教育は日本で誇れる教育の場であってほしい。各学校、地域間格差があってはならないが、各小中学校の知・徳・体の実態と今後の課題は何か。</p> <p>②学力の向上は親の願いであり、教育委員会をはじめ教育に携わる各団体、組織でもある。子どもに夢と情熱を注ぎ、教育の充実したまちには、子を持つ親からしてみれば自然と人が集まり、定住促進にもつながる。一朝一夕に結果が表れにくい教育ではあるが是非、学力の向上等に対する取り組みや幼保・小中連携の取り組みを通じ、結果が目に見える形で表れることを期待したいが見解を伺う。</p> <p>③今日の家庭・社会・学校教育にかかる社会環境の現状認識と、子どもたち一人ひとりが描く夢や未来を信じ、自分の未来の夢に向かって成長をしてほしいが、個性を伸ばし育むための教育の取り組みについての認識と今後の方向性について伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	土 田 昇	<p><b>1. 農業問題について</b></p> <p>(1) TPP問題についての最大の焦点が農業分野であり、各種農業団体等々は強く反対している状況の中で、政府は規模拡大政策をまとめて農家の1戸当たりの耕作面積を20～30ヘクタールに拡大する目標を掲げているが、たとえ農地をいくら拡大してもTPPに参加すれば、農家は現在よりもっと厳しい経済状況に追い込まれると思うが、再度市長の認識について伺う。</p> <p>(2) 県農産物検査協会の発表によると、2012年産コシヒカリの1等米比率は9月末現在で62.7%と1等米比率が低下しているが、燕市として今年ほどのような割合であったか伺う（加工米等々も含めて）と同時に、検査協会は銘柄、地域水田等々によって差が出ていると指摘している。今後は農家自身が当然のこと行政、JA等々が多角的に分析しなければならないと思うが、行政としてどのように対応しようとしているのか伺う。</p> <p>(3) 個々の農家が高齢化や規模拡大をして、用水や排水の管理も限界が来ている所があると思うが、どのように認識しているか伺う（指導等も含めて伺う）。</p> <p><b>2. 県央基幹病院の建設について</b></p> <p>(1) 9月議会の答弁で燕労災病院と厚生連三条病院に、経営主体となるかどうか協力を要請して9月中に回答期限の返事を待っていると答弁されているが、9月30日付けの日報の報道によれば、労働者健康福祉機構とJA県厚生連、県の3者が検討を進めることで合意したと報道されているが、それ以後どのような状況になっているのか伺う。</p> <p>(2) 県は年度内に知事、5市町村の首長でつくる合同会議で再編案を示す方針であります。市長が9月で答弁しているとおりの、市民の方々にその内容について説明する責任があると最近強く感じていますが、市長の考え方について伺う。</p> <p>(3) 500床規模の救急施設に集約すると県立吉田病院への影響がどうなるのか、9月議会では複数の案が示されても県央地域の医療体制の中で一定の機能、役割を果たすとしている以上、現在の県立吉田病院より規模の縮小に対しては明確に反対すべきと思うが市長の見解について伺う。</p> <p><b>3. 燕市おひさまプロジェクトについて</b></p> <p>(1) 新聞報道によれば、市内の企業約30社にアンケートを行って「自然エネルギーの普及に貢献したい」「子どものためなら」と10数社が、屋根を貸すことに前向きな意向を示したと報道されているが、全体の説明について詳細な資料を提出すべきと考えるが今後どのように対応するのか伺う。</p> <p>(2) 市の施設でも可能な所があると思うがどのように考えているか伺う。</p> <p><b>4. 自然再生エネルギーについて</b></p> <p>(1) ビジョン吉田、勤労青少年ホーム、総合体育館の屋根を利用して太陽光発電のシステムを作り、その施設に使用してはどうか伺う。</p> <p>(2) 産業史料館の太陽光発電に対し、9月議会以後どのように対応したか伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	タナカ・キン	<p><b>1. 電車での遠距離通学の児童と学区について</b></p> <p>現在、電車で通学している小・中学生の状況について</p> <p>(1) 学校へ通学している各人数と市の補助額について。</p> <p>(2) 吉田地区で、粟生津駅から電車に乗り北吉田駅まで行き、吉田中学校に通う生徒もいるというが、分水中学校のほうが近いと思えるが、その地区から分水中学校への距離と粟生津駅までの距離は約何kmなのか。</p> <p><b>2. 子宮頸がんワクチン接種について</b></p> <p>(1) 今年の7月と10月に日本脳炎ワクチンの接種を受けた児童が死亡したという報道があった。また、このワクチンでは副作用が疑われるケースとして、104人の発症が今年6月までに厚生労働省に報告されたという。</p> <p>薬やワクチン接種はしばしば副作用などの危険性も指摘される。中学1年生の女子に接種する子宮頸がんのワクチンの安全性についてお聞きしたい。</p> <p>①子宮頸がんは性交渉によって感染するヒトパピローマ（HPV）ウイルスが原因と言われているが、なぜこの年齢の女子にワクチン接種が必要なのか。</p> <p>②現在は、ワクチン接種は任意ということであるが、来年以降について。今年度、接種した女子の人数と接種率は。</p> <p>③ワクチン接種による有効性は。</p> <p>④女性のどのくらいの割合で感染するのか。感染者ががんを発症するまでの割合は。また、どういった人たちが多く発生するのか。</p> <p>⑤定期的な検診でがんの発症は防げないのか。燕市の子宮頸がん検診に対する助成や受診率はどうか。</p> <p>(2) 接種にあたり親子の方たちに十分な情報は届いているか。</p> <p>①接種にあたって、どういう説明がされているか。</p> <p>②学校との連携も必要と思うが、小・中学校での性教育は十分なのか、内容についてお聞きします。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	阿部健二	<p><b>1. 『教育立市宣言』をしている燕市が、市の図書館を指定管理へ移行する意義について</b>  せんだって、三条の人から「指定管理になって図書館のサービスが良くなった」という話を聞いた。  「ならば燕市も」と思う。2年前、日本図書館協会なる団体から、図書館の指定管理者制度は、適切ではないとする要望書が出されたようであるが…</p> <p>(1) 燕市も、毎年2万3,000円の会費を払ってきた日本図書館協会とは、いかなる団体か。</p> <p>(2) その要望書は「図書館協議会の議論では、再検討や中止を具申するものが多く、指定管理者制度の導入を促す事例は、ほとんどなかった」と書いているが、燕市の図書館協議会へも、日本図書館協会から問い合わせ（おそらくアンケートの形であろうが）が、あったか。</p> <p>(3) その要望書には「指定管理者制度を導入した例をみると、十分な情報提供や説明がなされず、住民団体が総務省に、住民への説明責任を果たすよう地方公共団体に徹底することを要請するほどだ」と書かれているが、燕市では、住民への説明責任が十分果たされていると言えるか。</p> <p>(4) 富士山麓にある山中湖情報創造館は、NPO法人による指定管理者制度の村立図書館であるが、燕市でも図書館の指定管理をNPO法人などに任せる考えは。</p> <p>(5) 市民のための図書館、そして『教育立市宣言』を掲げている市に相応しい図書館についての構想を持っているのか。</p> <p><b>2. 燕市の水道局も遠くない将来、指定管理者制度に組み込まれてしまうのか</b>  ワンストップサービスを“売り”の一つとして建てられる新庁舎に、なにゆえ燕市水道局が入らないのか怪訝に思ったが、指定管理者制度について調べていて、ようやく、そのわけがわかった。</p> <p>(1) ところで、燕市内に、水道法上、指定管理者制度の受託者として認可される業者は、あるのか。</p> <p><b>3. 市の老人福祉施設への今後の対応と福祉施設の指定管理者制度の関連について</b>  燕の中学校の教科書では『人権』の項目で「19世紀には資本主義経済が発展し、貧富の差が広がり、労働運動が高まり…」とまで書かれているが、資本主義経済の欠点を補うべく生まれた社会主義についてや、かつて、西側諸国が社会主義への脅威から、労働者の権利を認めたり、福祉に傾注せざるを得なかったことなどには、一切ふれていない。  そして今や、市場原理主義を推進する“新自由主義”の台頭で、労働環境や福祉が大きく後退し、19世紀に逆戻りしているのに、人権擁護は進んでいるがごとく書いている。  ここでの指定管理者制度が、新自由主義の“思わく”からでないことを願いたい。</p> <p>(1) 燕市では、第2デイサービスセンターなどを指定管理者制度にしているが、それは、今後、指定管理者制度を使って老人福祉施設を充実する考えからなのか。</p> <p>(2) 特養の入所待ち減少のため、泰阜村の『高齢者協同組合』を見習えと市に訴えて早6年、次々に変わる担当者たちが“引継ぎ”を忘れたせいか、市は梨の礫。  燕市の『第5期介護保険事業計画』で「地域における相互支援システム」を謳っている担当部課長たちは、泰阜村の『高齢者協同組合』を知るや知らずや。  (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	阿部 健二	<p><b>4. 市の指定管理者制度導入への積極さからも、市役所そのものが指定管理者制度になることを予感するのだが…</b></p> <p>やや古い話になるが——（かつての）自民党の野中広務幹事長は「身近な住民サービスは、郵便局が担当すべきだ」との考えを示した——と産経新聞（2000.08.05）に書かれており、すでに窓口業務の一部を担っている郵便局が、将来、地方自治体の事務にまでかかわろうと準備している話も耳にしたことがある。</p> <p>上記の元自民党の野中幹事長の新聞記事を引用した自治体情報政策研究所という団体は、もし、自治体の窓口業務が郵便局などに変わった場合、自治体職員と住民との間の意識のギャップの広がることを危惧しているが…</p> <p>(1) 住民との意識の隔たりをなくす意味からも、今後、市長にやってほしいことは、燕市の金属加工業者が、今日よりも明日、明日よりも明後日、少しでも多くの税金を払えるようになるためのトップセールスに勤しんで貰いたいということであるが。</p>
17	大岩 勉	<p><b>1. 燕中学校女子剣道部に、特別燕市民栄誉賞を授与すべきではないか</b></p> <p>(1) 全国中学校剣道大会女子団体で、3年連続5回目の優勝は偉業である。燕中学校女子剣道部に、特別燕市民栄誉賞を授与すべきではないか。</p> <p>(2) レスリング世界選手権連覇をし、国民栄誉賞を授与された吉田沙保里選手に匹敵する活躍ではないか。</p> <p>(3) 剣道部顧問や監督指導者の努力に対して感謝の意を表すべきではないか。</p> <p><b>2. 燕・吉田庁舎の再活用と産業支援について</b></p> <p>(1) 再活用計画を問う。</p> <p>(2) 2階、3階部分を企業支援・起業家育成の貸し支援室としたらどうか。</p> <p>(3) 燕商工会議所が、脱下請け・自社商品開発の取り組みをしているが、燕市としての支援はされるのか。</p> <p><b>3. 燕市地域防災計画について</b></p> <p>(1) 燕市は柏崎・刈羽原子力発電所の安全性確保を重要課題とした研究会に参加しているが、具体的な行動計画はあるのか。</p> <p>(2) 原発立地自治体などで作る「全国原子力発電所在市町村協議会」は、早期の再稼働や原発停止中の地元経済への要望支援を求めていることは、お分りですか。</p> <p>(3) 日本列島脱原発・脱原発と「付和雷同」のごとく叫ばれているが、防災課は発電所の運転状況などは把握されているのか。</p> <p><b>4. 学校教育について</b></p> <p>(1) 燕中等教育学校の運動会行事のすばらしさを、他校も教育に取り入れるべきではないか。</p>